

第30回 町田市子ども読書活動推進計画推進会議 次第

2026年1月22日
町田市立中央図書館ホール

- 1 開 会
図書館長 挨拶
- 2 委員紹介資料1
- 3 委員長及び副委員長の選任
- 4 議 事
(1) 第五次町田市子ども読書活動推進計画2025年度上半期の取組状況について 資料2
- 5 情報交換
- 6 その他
次回の会議予定について（6月～7月）
- 6 閉 会

配布資料一覧

資料1 町田市子ども読書活動推進計画推進会議 委員名簿

資料2 第五次町田市子ども読書活動推進計画2025年度上半期取組状況
報告書（案）

町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員名簿（2025. 11. 1～）

選 出 区 分	氏 名	備考
町田市公立小学校長会の代表 (成瀬小学校)	吉成 美紀	指名
町田市公立中学校長会の代表 (鶴川中学校)	大石 眞二	指名
町田市立小学校の読書活動に携わる保護者 (小山小学校)	輪田 和子	委嘱
町田市立中学校の読書活動に携わる保護者 (町田市立中学校PTA連合会の代表/木曾中学校)	兼子 由美恵	委嘱
町田市私立幼稚園協会の代表 (町田市私立幼稚園協会役員/玉川中央幼稚園)	中川 暁子	委嘱
町田市法人立保育園協会の代表 (子どもの森保育園 園長)	武藤 裕美	委嘱
図書館又は学校図書館に係わるボランティア (おはなしポケット)	長尾 厚子	委嘱
図書館又は学校図書館に係わるボランティア (鶴川第三小学校図書指導員)	福田 比呂子	委嘱
町田市立図書館協議会の代表	福田 有美子	委嘱
子ども生活部児童青少年課長	島崎 翔	委嘱
子ども生活部子育て推進課長	田中 茂明	委嘱
学校教育部教育総務課長	伊藤 豪章	指名
学校教育部指導課長	大山 聡	指名
生涯学習部図書館長	中嶋 真	指名

第五次町田市子ども読書活動推進計画

2025年度上半期取組状況報告書(案)

町田市教育委員会

2026年1月

目次

基本目標Ⅰ 子どもが本と出会うきっかけ作り

- 1-1 …… 図書館のおはなし会
- 1-2 …… 文学館のおはなし会
- 1-3 …… 学童保育クラブのおはなし会
- 1-4 …… 子どもセンターのおはなし会
- 1-5 …… 「子育てひろば」のおはなし会
- 1-6 …… 児童・生徒へのブックトーク
- 1-7 …… おすすめブックリスト
- 1-8 …… 赤ちゃんにおすすめの絵本の紹介
- 1-9 …… 図書館のイベント・講座
- 1-10 …… 若者の参画イベント
- 1-11 …… 図書館見学の受け入れ(利用ガイダンス、施設見学)
- 1-12 …… 移動図書館の出張運行
- 1-13 …… 文学館のイベント・講座
- 1-14 …… 絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会
- 1-15 …… マイ保育園登録時の絵本配布
- 1-16 …… 各校特色のある読書活動

基本目標Ⅱ いつでも身近なところに本がある環境作り

- 2-1 …… 町田第一中学校図書室ここまちベース
- 2-2 …… 玉川学園駅前連絡所児童図書室
- 2-3 …… 図書館
- 2-4 …… 子どもセンター
- 2-5 …… 公立保育園および地域子育て相談センター
- 2-6 …… 学校図書館支援貸出
- 2-7 …… 学校図書館の蔵書整備
- 2-8 …… 「学校図書館活用の手引き」の活用
- 2-9 …… 学校図書館の運営人材の確保
- 2-10 …… 電子書籍サービスの活用
- 2-11 …… 図書館ホームページ等での情報発信
- 2-12 …… 「みんなが読める本」の周知活動
- 2-13 …… 「家庭学習推進の手引き」の提供
- 2-14 …… 「子育てひろばカレンダー」の発行

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の育成と支援

- 3-1 …… 学校図書館担当者研修
- 3-2 …… 新任教諭への図書館研修
- 3-3 …… 市民向け絵本の読み聞かせ講座
- 3-4 …… おはなし会ボランティアの養成講座
- 3-5 …… 児童文学講座

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度上半期取組状況	自己評価(上半期)	2026年度目標	2026年度取組予定
	1	おはなし会の実施	図書館のおはなし会	図書館	乳幼児小保	乳幼児向けから小学校低学年向けまで、年齢にあったおはなし会を行い、子どもや保護者におはなしの楽しさを味わってもらいます。子どもが本に興味を持ち、本に興味を持ってもらえるように読書の機会を提供します。	「おはなし会」を全館で定期的に開催する。 「おはなし会ボランティアの活躍の場を拡充する。	・2024年度と同様の日時と規模感で定期的に開催する。	各館で定例のおはなし会を開催した。 【館内おはなし会】102回開催、2,085名参加 【館内乳幼児向けおはなし会】52回開催、687名参加 このほか不定期イベントとして「こわいおはなし会」(中央、金森、木曾山崎、忠生図書館)4館で開催、102名参加。紙芝居おはなし会(鶴川駅前図書館)1回開催、17名参加。英語絵本読み聞かせおはなし会(忠生図書館)1回開催、21名参加。 【出張おはなし会】 ・子どもセンター「まあち まあちでだっこのおはなし会(中央図書館・さるびあ図書館)」3回開催、60名参加 ・七国山小学校おはなし会(木曾山崎図書館)2回開催、29名参加 ・忠生地区子育てひろば内読み聞かせ(忠生図書館)2回開催、28名参加	B	「おはなし会」を全館で定期的に開催する。 「おはなし会ボランティアの活躍の場を拡充し、ボランティア主体で進められるよう検討する。	・2025年度と同様の日時と規模感で定期的に開催する。 ・乳幼児向けおはなし会のニーズに応じて、おはなし会の増設を検討する。
	2	おはなし会の実施	文学館のおはなし会	図書館(文学館)	乳幼児小保	絵本や紙芝居の読み聞かせ、わらべうたやことば遊びを通じた親子のコミュニケーションを促し、「ことばの扉」となるような事業を行います。	・子どもの発育に応じた定例のおはなし会を実施する。 「おはなし会ボランティア募集を行う。	・子どもの発育に応じたおはなし会を定期的に実施し、親子のコミュニケーションを通じて「ことば」への関心を育てる機会を提供する。 「ことばであそぼう!」0～1歳児対象:23回実施 「ことばであそぼう! みんなあつまれ!」2歳～未就学児対象:4回実施 -「ことば」のリズムと創作の楽しさを体験する俳句教室を年2回(春・秋)実施する。	・ちんぷいぷい11回開催、264名参加 ・ことばであそぼう! みんなあつまれ:2回開催、28名参加 ・俳句でハイク:2回開催、2名参加 ・ちんぷいぷい支援隊(ボランティア)募集を行い12名の新規ボランティアが加わった。	B	・上半期は2025年度同様に、子どもの発育に応じた定例のおはなし会を実施する。 ・下半期は大規模修繕により休館となるため、他の施設を借りて事業を継続する。	・0～1歳児対象事業の実施 ・未就学児対象事業の実施 ・小学生対象事業の実施
	3	おはなし会の実施	学童保育クラブのおはなし会	児童青少年課	小	学童保育クラブに入会する子どもたちが、本に親しんでもらえるようにおはなし会を行います。	おはなし会を学童保育クラブ支援員、およびボランティア団体等と連携しながら実施する。	・各学童保育クラブで、地域のボランティア団体等と連携し、おはなし会を、月に1回以上実施する予定である。 ・また、学童保育クラブの支援員に向けて、図書館の読み聞かせ講座の開催についても周知を行う。	・中央学童保育クラブでは毎週土曜日に学童保育クラブ支援員がおはなし会を実施したほか、夏休み期間に地域のボランティア団体によるおはなし会を低学年対象・高学年対象の2回実施した。 ・そのほか12の指定管理施設においても、地域のボランティアと連携し、月1回以上、おはなし会を実施した。	B	おはなし会を学童保育クラブ支援員、およびボランティア団体等と連携しながら実施する。	・各学童保育クラブで、学童保育クラブ支援員、および地域のボランティア団体等と連携し、おはなし会を月に1回以上実施する予定である。 ・また、学童保育クラブの支援員に向けて、図書館の読み聞かせ講座の開催についても周知を行う。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度上半期取組状況	自己評価(上半期)	2026年度目標	2026年度取組予定
1	4	おはなし会の実施	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	乳幼小中保	子どもセンターに来館する子どもたちが、本に親しめるように、地域のボランティア団体と連携しながら、おはなし会を行います。	【ばあん】 おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 【つるっこ】 おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 【ばお】 おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 【ばお分館 WAAAO】 おはなし会を、ボランティア団体および市立図書館と連携しながら実施する。 【ただON】 おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 【まあち】 おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	引き続き、各子どもセンターで地域ボランティア団体等と連携し、おはなし会を月に1回以上実施する予定である。	<p>【ばあん】 ・毎月原則2回、地域ボランティア団体の協力を得て、おはなし会を実施した。絵本の読み聞かせ・手遊び・紙芝居等を行い、季節感を伴った内容を紹介した。</p> <p>【つるっこ】 ・毎月1回、おはなしボランティア団体「柿の本文庫」による「手遊び、ふれあいあそび、絵本の読み聞かせ、ハネルシアター、人形劇」等乳幼児とその保護者対象のおはなし会「びよばおタイム」を実施した。 ・夏休み期間に1回、おはなしボランティア団体「柿の本文庫」による「季節にちなんだ素話やハネルシアター、紙芝居」等小学生対象のおはなし会を実施した。</p> <p>【ばお】 ・毎月1回、おはなしボランティア団体「おはなしアイアイ」による「手遊び、ふれあいあそび、絵本の読み聞かせ、紙芝居」等乳幼児とその保護者対象のおはなし会を実施した。 ・夏休み期間に1回、おはなしボランティア団体「おはなしアイアイ」による小学生対象のおはなし会を実施した。</p> <p>【ばお分館 WAAAO】 ・毎月原則1回、ボランティア団体による乳幼児向けのおはなし会を実施した。 ・夏休み期間に1回、ボランティア団体による小学生～18歳向けのおはなし会を実施した。 ・夏休み期間に1回、堺図書館による小学生以上向けのこわいおはなし会を実施した。 ・11月に1回、堺図書館による乳幼児向けのおはなし会を実施予定である。</p> <p>【ただON】 ・毎月1回、地域ボランティア団体による乳幼児向けのおはなし会を開催し、絵本の読み聞かせや季節にちなんだおはなしなどを提供した。基本的には午前の開催であるため、幼稚園や保育所に通っていると参加できない、との意見を受けて、学期に1度、午後に開催している。 ・夏休み期間中に地域ボランティア団体による小学生向け「こわいおはなし会」を実施した。 ・忠生図書館との共催事業「忠生図書館からの挑戦状」を、7月に実施した。</p> <p>【まあち】 ・毎月1回、おはなしボランティア団体「こぼ」による「手遊び、わらべうた、絵本の読み聞かせ」等乳幼児向けのおはなし会を実施した。 ・4、6月に回すつ、中央図書館・さるびあ図書館との共催による乳幼児向けおはなし会を実施した。 ・夏休み期間に1回、さるびあ図書館との共催による小学生向け「こわいおはなし会」を実施した。</p>	B	地域ボランティア団体と連携しながら、子どもたちに興味を持ってもらえる本を紹介するほか、親子で本に触れあう機会を提供する。	引き続き、各子どもセンターで地域ボランティア団体等と連携し、おはなし会を月に1回以上実施する予定である。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度上半期取組状況	自己評価(上半期)	2026年度目標	2026年度取組予定
1	5	おはなし会の実施	「子育てひろば」のおはなし会	子育て推進課	乳幼児	乳幼児を対象とした「子育てひろば」で、絵本の読み聞かせを行います。また、その年齢にあった絵本や、季節の絵本などの紹介を利用者に行います。	・子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・季節に合わせた絵本の紹介を行う。 ・ボランティアによる読み聞かせを取り入れる。	・子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・年齢や季節に合わせた絵本の紹介を行う。	・子育てひろばの中で、毎回年齢や季節に合わせた絵本を紹介したり、読み聞かせを行ったりしている。おはなし会を主とした子育てひろばを5地域で計137回開催した。また、町田地域子育て相談センターでは、館内の利用者向けに不定期で開催している「スポットタイム」にて、読み聞かせを13回開催した。 ・地域のボランティアに絵本の読み聞かせを行ってもらった。	B	・子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・季節に合わせた絵本の紹介を行う。 ・ボランティアによる読み聞かせを取り入れる。	・引き続き、あそびの会での読み聞かせや、室内開放等でのスポットタイム(不定期のお話会)、図書館との連携事業の実施を行う。 ・季節の絵本の紹介や読み聞かせを行う。 ・ボランティアによる読み聞かせの機会を作る。
1	6	ブックトークの実施	児童・生徒へのブックトーク	図書館	幼小中	図書館職員が学校へ出向き、学校の読書活動の一環として、テーマに沿って本を組み合わせて紹介するブックトークを行い、読書の楽しさを伝えます。また、図書館の紹介や利用案内も行います。	・普及・継続に向けて、ブックトークのノウハウ共有とスキル向上を図る。 ・より効果的なPRに努める。	・ブックトークの効果的な実施方法について、検討を行っている。	上半期はなし 下半期予定 【中央図書館】 12月8日「藤の台小学校(2年生)」 【金栗図書館】 10月31日「小川小学校(2年生)」	B	・ブックトークの効果的な実施方法について、検討を行っている。 ・より効果的なPRに努める。	・普及・継続に向けて、ブックトークのノウハウ共有とスキル向上を図る。
1	7	ブックリストの作成・配布	おすすめブックリスト	図書館	乳幼小中保他	図書館で購入した児童図書の中から、図書館職員が選んだおすすめの本を集めて、年別のリーフレットを作成・配布します。それぞれに、おすすめ本の簡単な解説を掲載します。	＜赤ちゃん向け＞ 「あかちゃんのためのしむえほん」 ＜幼児向け＞ 「ほんのたからじま 3・4・5さい」 ＜小学生向け＞ 「本のたからじま」(学年ごと) 「本のたからじま」(学年ごと) その他、新しい本からおすすめする「みんなでよう子どもの本」、「YA通信」等を発行する。	・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に案内及び配布する。 ・「みんなでよう子どもの本」については、作成方法の見直しを検討し、あわせて利用者に効果的に届くよう検討を行う。 ・2025年度も継続して、「YA通信」等を発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布する。	・「ほんのたからじま(1-2年生)」の改定に向けて、選定を行った。 ・「しんねい用本のたからじま」を図書館で利用券を作成した新1年生に配布した。 ・「みんなでよう子どもの本」194号発行のための選定作業を行った。 ・「YA通信」269号から272号まで発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等36校、子どもセンター等へ配布した。 ・ブックリストにちなんだ特集展示を行った。	B	＜赤ちゃん向け＞ 「あかちゃんのためのしむえほん」 ＜幼児向け＞ 「ほんのたからじま 3・4・5さい」 ＜小学生向け＞ 「本のたからじま」(学年ごと) その他、新しい本からおすすめする「みんなでよう子どもの本」、「YA通信」等を発行する。 効果的な配布方法について検討する。	
1	8	ブックリストの作成・配布	赤ちゃんにおすすめの絵本の紹介	保健予防課	乳保	出産後の保護者と接する健診等の機会に、赤ちゃんにおすすめの絵本について情報提供します。	・赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介し、絵本に親しんでもらう。	・毎月行われる3～4か月健診において、赤ちゃんにおすすめの絵本のリーフレットを配布予定である。	・3～4か月健診において、赤ちゃんにおすすめの絵本のリーフレットを配布した。 配布数 1,073部 (健診実施回数 全5会場・29回)	B	・赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介し、絵本に親しんでもらう。	・毎月行われる3～4か月健診において配布している健診(リーフレット)に、絵本の紹介記事(中央図書館HP)もページ紹介を掲載予定である。
1	9	子ども読書の周知活動	図書館のイベント・講座	図書館	小中	子ども・若者が読書や図書館に興味を持つきっかけとなるような、イベント・講座を行います。	・各館でイベントを実施する。	・子ども・若者に参加してもらえよう、イベントを行っている。	【中央図書館】 ・児童向けイベントとして「にんきものはだれだ!?」、「まちくエキッズ」を実施した。 ・中学生から大学生までを対象とした図書館員を体験できるイベント「一日図書館員」を4回実施し、10名の参加があった。 ・中央図書館内を巡って謎を解くイベント「まちくエ2025」を7月19日から8月31日まで実施し、187名の参加(内イベント対象(中学生・高校生世代)は27名)があった。アンケート回答者121名だった。 ・若者自身で図書館でのイベントの企画・運営を行ってもらう「図書館プランナー(図書館イベントボランティア)」のイベントを2件実施した。(6月15日「ありのままアニメ化漫画を5分で話さぜっ!」～アニメ化漫画話し語り会!」、7月12日「おひよ!クトゥルフの沼」) 【金栗図書館】 ・夏休みイベント「きょうりゅうクイズにちようせん! キミもきょうりゅうはかせになろう」を実施した。 【本堂山崎図書館】 ・夏休みイベント「おえかきマグネットをつくらう」、「おすすめ本の自動販売機」を実施した。 【堺図書館】 ・夏休みイベント「うみのいきものをさがせ!」を実施した。 【鶴川駅前図書館】 ・夏休みイベント「つるまっちゃん＆こつるまっちゃんめり絵大会!」、「かりて!まわして!シールラリー!」を実施した。 【忠生図書館】 ・夏休みイベント「ひつじちゃんをさがせ!」、「とよかんまじよからのちようせんじよう!」を実施した。	B	・各館でイベントを実施する。	・子ども・若者に参加してもらえよう、引き続きイベントを行っている。
1	10	子ども読書の周知活動	若者の参画イベント	図書館	中	若者が読書や図書館に興味を持つきっかけとなるように、同世代の若者自身が、自分たちが楽しいと思うイベントの企画・運営を行います。	・子ども・若者が参画できるような取組を検討・推進する。	・毎月行う図書館プランナーミーティングで企画したイベントを実施する予定。 ※図書館プランナーとは、15歳から25歳までの方が集まり、図書館でのイベントの企画や運営を行うボランティアをいう。	イベントの企画・運営を行う若者ボランティア「図書館プランナー」による企画を2件実施した。 ・6月15日「ありのままアニメ化漫画を5分で話さぜっ!」参加者:2人 ・7月12日「おひよ!クトゥルフの沼」参加者:9人	B	・子ども・若者が参画できるような取組を検討・推進する。	・図書館プランナーミーティングで企画したイベントを実施する。 ※図書館プランナーとは、15歳から25歳までの方が集まり、図書館でのイベントの企画や運営を行うボランティアをいう。

基本目標 I ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度上半期取組状況	自己評価(上半期)	2026年度目標	2026年度取組予定
	11	子ども読書の周知活動	図書館見学の受け入れ(利用ガイドンス、施設見学)	図書館	幼小中	学校からの見学依頼を受け、図書館案内や書庫のバックヤード見学などを行い、図書館や本に興味関心を持ってもらいます。	・学校等からの見学ツアー等を受け入れ、図書館の利用方法、図書館の行っている業務内容等を広める。	・近隣の小学校からの見学依頼を受け、図書館や移動図書館を紹介し、図書館や本に興味関心を持ってもらえるようにする。	・地域からの依頼に基づき、以下のとおり実施または実施を予定 【中央図書館】 ・11月20日「南第三小学校(2年生)」 ・11月26日「町田第二小学校(2年生)」 ・11月27日「高ヶ坂小学校(2年生)」 【さるびあ図書館】 ・6月19日、26日「町田第一小学校(2年生)」:116名参加 【金森図書館】 ・10月31日「小川小学校(2年生)」 【木曾山崎図書館】 ・5月28日「七面山小学校(2年生)」:35名参加 ・5月30日「七面山小学校(2年生)」:36名参加 【景図書館】 ・9月25日「相原小学校(2年生)」:児童72名、大人5名 【鶴川駅前図書館】 ・5月22日、6月5日「町田の丘学園小学部(1～5年生)」:53名参加 ・6月23日「鶴川第三小学校(2年生)」:57名参加 【忠生図書館】 ・7月1日「山崎小学校(2年生)」:52名参加	B	・学校等からの見学ツアー等を受け入れ、図書館の利用方法、図書館の行っている業務内容等を広める。	・近隣の小学校からの見学依頼を受け、図書館や移動図書館を紹介し、図書館や本に興味関心を持ってもらえるようにする。
	12	子ども読書の周知活動	移動図書館の出張運行	図書館	乳幼小保他	保育園、幼稚園、イベント会場など、子どもが集まる場所に移動図書館の出張運行を行います。本の貸出のほか、紙芝居やミニおはし会などを行いながら、本に触れる機会を作ります。	・保育園、幼稚園、イベント会場などに移動図書館の出張運行を行い、子どもが本に触れあう機会を提供する。	・保育園、幼稚園、イベント会場など12か所に移動図書館の出張運行を行う予定である。	・保育園、幼稚園、イベント会場など8か所に移動図書館の出張運行を行った。	B	・保育園、幼稚園、イベント会場などに移動図書館の出張運行を行い、子どもが本に触れあう機会を提供する。	・保育園、幼稚園、イベント会場など14か所に移動図書館の出張運行を行う予定である。
	13	子ども読書の周知活動	文学館のイベント・講座	図書館(文学館)	小中	町田市内の小学校・中学校・高等学校に在学する生徒を対象に「ショートショートコンクール」を開催します。コンテストを通じて自由に「書くこと」の楽しさを伝えます。	・第5回ことばらんどショートショートコンクールの実施	・ショートショートコンクールへの応募を促すため、各校担当教員等への積極的なPRと書き方講座(出張事業)を実施する。 ・中央図書館、市庁舎イベントスタジオ等で受賞作の展示を実施し、コンクールのPR活動に努める。	・市内小・中学校において書き方講座(出張授業)を16件実施し、応募作品数は347作品となった。 中央図書館と市庁舎1階イベントスペースにて受賞作のPR展示会を計2回実施した。	B	・第6回ことばらんどショートショートコンクールの実施	・2025年度と同様に、ショートショートコンクールへの応募を促すため、各校担当教員等への積極的なPRと書き方講座(出張事業)を実施する。
	14	子ども読書の周知活動	絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会	図書館(文学館)	乳幼小保他	夏季には絵本作家や子ども向け(主として乳幼児から小学校低学年とその保護者)のテーマを扱った企画展を開催します。漫画など文学に隣接するジャンルの展覧会の開催に積極的に取り組みます。	・絵本・児童文学・漫画を題材にした展覧会の実施	・春季展覧会では、おーなり由子氏の絵本「ことばのかたち」と館庭氏の漫画「言葉の獣」を展示する。 ・夏季展覧会では、くだものをテーマにした絵本の原画展「絵本の森でフルーツ狩り」を開催する。	・春季展覧会では、館庭氏の漫画「言葉の獣」を展示した。観覧者:6,232名 ・夏季展覧会では、くだものを題材にした絵本の原画展「絵本の森でフルーツ狩り」展を実施した。観覧者:9,895名	B	・絵本・児童文学・漫画を題材にした展覧会の実施	・春季展覧会では、「NEO古典主義」と題し、古典作品を絵本や漫画にした作品を展示予定 ・夏季展覧会では、絵本作家・いしかわこうじの絵本展を開催予定
	15	子ども読書の周知活動	マイ保育園登録時の絵本配布	子育て推進課	乳保	マイ保育園に初めて登録する0歳児のご家庭に、図書館のブックリストを参考に選んだ絵本のプレゼントを行います。	・マイ保育園登録につながるよう、動員訪問等で登録を勧めていく。	・0歳でマイ保育園新規登録者には、絵本を配布する。	・653冊の絵本を0歳のマイ保育園新規登録者に配布した。 ※マイ保育園とは、地域の家庭が近隣の保育園を「かかりつけ保育園」として登録し、気軽に相談できるような子育て支援のこと。	B	・0歳でのマイ保育園登録につながるよう、子育てひろばや動員訪問等で登録を勧める。	・0歳のマイ保育園新規登録者には、絵本を配布する。
	16	学校での読書活動	各校特色のある読書活動	指導課	小中	学校の教育計画の「指導の重点」に明記して、市立小学校・中学校で、それぞれ特色ある読書活動に継続的に取り組みます。	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。	・市内小・中学校全校を対象に学校図書館活用状況調査を実施し、各校の特色ある読書活動の実践事例を収集した。	B	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例の共有を中心に各校の特色ある学校図書館活用を推進していく。

総括	A評価	B評価	C評価	16
	0	16	0	

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度上半期取組状況	自己評価(上半期)	2026年度目標	2026年度取組予定
2	1	本と出会う場所	町田第一中学校図書室こまちベース	生涯学習センター	乳幼児小中保他	町田第一中学校の図書室「こまちベース」を、図書室にある本を読む場所というだけでなく、学習支援や各種イベントを行うこと、学びの場、読みの場、多世代交流の場とします。	・ひと月に一つの割合でイベントを実施する。	・好評の「こまちの塾」の継続や多世代交流につながる各種イベントを実施する予定である。また、絵本コーナーに設置している「こまちの芝生」を活用して、未就学児とその保護者を対象としたイベントを試みる予定である。	・9月までに6イベントを開催する。	B	・ひと月に一つの割合でイベントを実施する。	・「こまちの塾」を「こまちの自習室」として運用を変更し、定員を増やす予定である。
2	2	本と出会う場所	玉川学園駅前連絡所児童図書室	市民課(玉川学園駅前連絡所)	乳幼児小保	児童図書室には、乳幼児向けの絵本から、児童書、紙芝居など約7,000冊の本があります。1人1冊、2週間借りることができ、対象は、町田市在住・在学・在勤の方です。	・魅力ある図書室の環境を整える。	・子どもたちに興味をもってもらい取り組みとして、季節の絵本や個別の作家の特集コーナーを設置する。 ・利用者や地域の方から提供される再利用本を活用する。	・新規に図書を37冊購入し、30冊の寄贈を受けた。 ・季節ごとに飾り付けを行い、動きさせない工夫を行った。	A	・魅力ある図書室の環境を整える。	・子どもたちに興味をもってもらい取り組みとして、季節の絵本や個別の作家の特集コーナーを設置する。 ・利用者や地域の方から提供される再利用本を活用する。
2	3	本の充実	図書館	図書館	乳幼児小中保他	子どもたちに読書を楽しんでもらえるように、蔵書の構成を違えて、実際に現物を確認し、内容を精査してから購入します。子どもたちの興味を引くような本や、調べ学習に対応できるような本など、さまざまなニーズに幅広く対応できるようにします。	・図書館において、児童・生徒の興味関心や調べ学習に対応できる蔵書構成、資料の充実を図るとともに、引き続き幅広いニーズに迅速に応えられるよう、情報収集に努める。	・カウンター業務における読書相談の内容を、全館の担当者の打ち合わせで共有し、選書に活用する。 ・利用頻度の高い乳幼児向け絵本・基本書は買換え・所蔵換え等を行って、状態の良い資料の提供を心がけた。 ・小中学校の教科書改訂に伴い、ニーズのありそうな知識の本を複数購入した。	・選定会議で現物を見たらうて、新刊の内容を確認して取集を行った。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズ把握に努めた。 ・利用頻度の高い乳幼児向け絵本・基本書は買換え・所蔵換え等を行って、状態の良い資料の提供を心がけた。 ・小中学校の教科書改訂に伴い、ニーズのありそうな知識の本を複数購入した。	B	・図書館において、児童・生徒の興味関心や調べ学習に対応できる蔵書構成、資料の充実を図るとともに、引き続き幅広いニーズに迅速に応えられるよう、情報収集に努める。	・カウンター業務における読書相談の内容を、全館の担当者の打ち合わせで共有し、選書に活用する。 ・ログセンターの買い替え、小学生に人気がある本の新規購入を行う。 ・調べ学習に対応できるような資料の選定・購入を心がける。
2	4	本の充実	子どもセンター	児童青少年課	乳幼児小中保	子どもセンターばお分館WAAAOは、「絵本の世界へようこそ」コンセプトです。子どもたちに親しんでもらえるよう「ドキドキ図書コーナー」のスペースを設置しています。	・配架の工夫を行う。 ・利用者のニーズに合う書籍を新規に購入する。	・引き続き、多くの子どもたちが本を手にとり、本に興味を持ってもらえるように、低い書棚に配架するなどの工夫を行う。 ・小学生の利用者が増えているので、小学生にアンケートを取り、本を揃えていきたい。	・書棚は高くせず、手に取りやすい位置に配架している。 ・引き続き、「今月のおすすめの本」を毎月3冊選出し、配架している。 ・小学生も楽しめるような書籍を年度内に購入予定である。	B	・子どもたちが本に興味を持ちやすくなるよう、配架の工夫を続ける。 ・必要に応じて、書籍の見直しや入れ替えをする。	・引き続き、子どもたちが本に興味を持ちやすくなるよう、配架の工夫を続ける。 ・必要に応じて、書籍の見直しや入れ替えをする。
2	5	本の充実	公立保育園および地域子育て相談センター	子育て推進課	乳幼児保	身近で絵本が借りられるよう、絵本の貸し出しを行います。図書館からのリサイクル図書を利用し、本の入れ替えを定期的に行っています。貸し出しの際には、季節の本や子どもに人気の本を紹介し、興味関心を持ってもらえるように行います。	・子ども達や親子が絵本に触れる機会を多く作っていく。	・絵本の貸し出しを行い、併せて絵本の紹介も行っていく。 ・地域子育て相談センターでは年齢に応じた絵本の紹介を行う。	・公立保育園では、図書館を定期的に利用し、子どもたちの興味に合わせた絵本を借りて活用している。園の貸し出し絵本コーナーでは親子で絵本を選ぶようにし、図書館からのリサイクル絵本も活用しながら、季節や興味に合わせて定期的に絵本を入れ替えた。地域子育て相談センターでは、開放の部屋にて絵本コーナーを設置し、手に取りやすい環境を整備した。絵本の貸し出しを実施している相談センターでは、延べ64名が利用した。	B	・子ども達や親子が絵本に触れる機会を多く作る。	・公立保育園や地域子育て相談センターで、引き続き絵本の貸し出しや絵本の紹介を行う。 ・子どもが絵本に興味を持ち、気軽に手に取って読むことが出来るよう環境を整え、絵本コーナーを充実させる。 ・地域子育て相談センターでは、子育てひろばやあそびの会にて、年齢に応じた絵本の紹介を行う。
2	6	学校図書館の充実	学校図書館支援貸出	図書館	小中他	さるびあ図書館を拠点に、学校図書館への支援貸出を行います。学校での調べ学習をサポートするため、図書館で必要に合わせた本を選び、配本しています。	・学校図書館支援貸出について各学校へ周知及びスムーズで簡単に支援貸出ができるように進めていく。	・学校図書館支援貸出について各学校へ周知することで、学校図書館支援貸出の活用を進めていく。	・学校図書館支援貸出についての周知文を2025年5月に各小中学校に送付した。また、最近多い新たなテーマの資料について購入した。	B	・スムーズで簡単に支援貸出ができるように進めていく。	・スムーズで簡単に支援貸出ができるように、学校からの依頼回数が多いテーマの本の追加購入を進める。
2	7	学校図書館の充実	学校図書館の蔵書整備	教育総務課	小中	児童生徒が本に触れあう機会を増やし、豊かな知識や心を持つことができるよう、学校図書館図書標準の達成と廃棄指標に基づき、計画的に蔵書の更新を進めます。	・学校図書館図書標準全校達成。 ・学校図書更新比率全国平均以上の達成校38校。	・各学校図書館の蔵書数を確認し、学校図書館図書標準の全校達成および学校図書更新比率全国平均以上38校達成に向けて支援する。	・2025年度の各学校図書館の蔵書整備計画を確認した(下半期には中間確認を実施し、蔵書購入及び廃棄が計画どおり推移しているか確認する予定)。	B	・学校図書館図書標準全校達成。 ・学校図書更新比率全国平均以上の達成校45校。	・各学校図書館の蔵書数を確認し、学校図書館図書標準の全校達成および学校図書更新比率全国平均以上45校達成に向けて支援する。
2	8	学校図書館の充実	「学校図書館活用の手引き」の活用	指導課	他	児童・生徒の読書活動の充実のため、「学校図書館活用の手引き」の活用状況を把握し、学校図書館担当研修会の研修等の内容に反映させます。	・「学校図書館活用の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・第1回目の研修で、「学校図書館活用の手引き」について周知するとともに、各学校の取組について情報交換を行う。	・第1回目の研修会で「学校図書館活用の手引き」について周知し、内容理解を図った。また協議会を設定し、各校の取組について情報共有を行った。	B	・「学校図書館活用の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・第1回目の研修で、「学校図書館活用の手引き」について周知するとともに、各学校の取組について情報交換を行う。
2	9	学校図書館の充実	学校図書館の運営人材の確保	指導課	他	学校司書等の学校図書館の運営を担う人材確保の方法を検討するとともに、「小中学校モデル事業」を行います。	・学校図書館の専門人材を安定的に確保し、巡回型学校図書館指導員の活用を通して、すべての学校で計画的かつ継続的な学校図書館運営を実現する。	・巡回型学校図書館指導員を運用し、人材確保と、円滑な運営を進める。	・巡回型学校図書館指導員の運用開始に向け、準備を進めた。	B	・学校図書館の専門人材を安定的に確保し、巡回型学校図書館指導員の活用を通して、すべての学校で計画的かつ継続的な学校図書館運営を実現する。	・巡回型学校図書館指導員の運用を中心に学校図書館の機能強化を図っていく。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度上半期取組状況	自己評価(上半期)	2026年度目標	2026年度取組予定
2	10	学校図書館の充実	電子書籍サービスの活用	指導課	小中	学校図書館の機能充実を行うため、学校では市立図書館の電子書籍サービスを活用します。	・学校図書館における電子書籍サービスの活用を推進し、教職員の間と活用力を高めることで、学校図書館の機能充実と児童生徒の学びを支える環境を整備する。	・学校図書館担当者研修会等で電子書籍サービスを活用できるよう研修を行い、校内に広めていく。	・第1回学校図書館担当者研修会で電子書籍サービスについて、全小・中学校で使用できることを周知し、各校で積極的な活用を促した。	B	・学校図書館における電子書籍サービスの活用を推進し、教職員の理解と活用力を高めることで、学校図書館の機能充実と児童生徒の学びを支える環境を整備する。	・学校図書館担当者研修会等で電子書籍サービスを活用できるよう研修を行い、校内に広めていく。
2	11	情報の発信	図書館ホームページ等での情報発信	図書館	小中保他	子どもたちの読書のきっかけや、本との出会いとなるように、イベント(おはなし会など)の情報や、おすすめ本リスト等を、図書館ホームページ、まちだ子育てサイト、X(旧Twitter)でお知らせします。また、図書館ホームページでは、本と出会う場所や団体の情報をまとめた「町田市読書MAP」や、学校の先生に向けた「市内小・中学校の先生方へ」など、幅広い情報を掲載します。	・子ども読書に関する情報(イベント)をわかりやすく、早く発信していく。	・図書館ホームページが2025年3月に更改したため、運用方法を検討していく。	・毎月1日と15日に図書館ホームページとX(旧 Twitter)にてイベント情報を掲載している。9月までの更新回数は、図書館ホームページが180回、X(旧 Twitter)が99回。 ・まちだ子育てサイトに「おはなし会」の情報を掲載している。夏休みは各館イベントごとにページを作成した。9月までの更新回数は41回。 ・図書館ホームページを更新し、閲覧者に分かりやすい構成を構築した。 ・注目してほしい情報が図書館ホームページのトップページで目で見られるよう、スライダーを活用した。	B	・子ども読書に関する情報(イベント)をわかりやすく、早く発信していく。	・情報が探しやすいページ作りを行う。
2	12	情報の発信	「みんなが読める本」の周知活動	図書館	幼小保他	みんなが読むことができるさまざまな「本」があります。「本」を必要としている子どもだけではなく、周りの人たちにも知ってもらえるように、周知活動を行います。	・図書館が実施する障がい者向けサービスについて周知する。 ・さまざまな資料を紹介する展示を実施する。 ・子ども向けイベントを実施する。	さまざまな読書方法について、イベントや展示により広報予定である。 ・館内展示等で図書館が実施する障がい者向けサービスについて周知する。 ・点字絵本の特集コーナーを、毎月内容を変更して継続的に実施する。 ・夏休み期間に子ども向けイベント(マルチメディアデイズ)上映会、点字打ち体験会等)を実施する。	・中央図書館の障がい者サービスフロア周辺に掲示物を継続して設置した。 ・リーディングトラッカーの貸出と閲覧席への設置を継続して行った。 ・点字絵本の特集を毎月実施し、利用者に対するサービス周知を継続して行った。 ・7月31日にマルチメディアデイズ上映会とリーディングトラッカー作り(参加18名)を実施した。また、8月7日に児童向け点字体験会(参加14名)を実施した。	B	・図書館が実施する障がい者向けサービスについて周知する。 ・さまざまな資料を紹介する展示を実施する。 ・子ども向けイベントを実施する。	さまざまな読書方法について、イベントや展示により広報予定である。 ・館内展示等で図書館が実施する障がい者向けサービスについて周知する。 ・点字絵本の特集コーナーを、毎月内容を変更して継続的に実施する。 ・夏休み期間に子ども向けイベント(マルチメディアデイズ)上映会、点字打ち体験会等)を実施する。
2	13	情報の発信	「家庭学習推進の手引き」の提供	指導課	保	「家庭学習推進の手引き」を全家庭に配付し、読書に親しむことを広めていきます。	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として、「読書活動の推進」を行うことなを継続する。 ・市立図書館とも連携し、電子書籍サービスの学校での活用を図るため、新入生に対し、アカウントを配付した。	・「家庭学習推進の手引き」を活用し、各学校に展開した。	B	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として、「読書活動の推進」を行うことなを継続する。 ・中央図書館とも連携し、電子書籍の活用事例等の紹介を行い、ク롬ブックを用いた家庭での読書活動も啓発する。
2	14	情報の発信	「子育てひろばカレンダー」の発行	子育て推進課	保	子育てひろばカレンダーを月に1回発行し、子育てひろばやおはなし会などの情報発信を行います。	・親子がおはなしに触れる機会を発信していく。	・子育てひろばカレンダー、まちだ子育てサイトにて、おはなし会などの情報発信を行う。	・「子育てひろばカレンダー」に図書館のおはなし会を計82回掲載した。(町田地域18回、鶴川地域15回、南地域12回、忠生地域31回、堺地域回) ・「子育てひろばカレンダー」の冊子を165箇所へ配架した。なお、「子育てひろばカレンダー」は「子育てサイト」にも掲載している。	B	・親子がおはなしに触れる機会を発信する。	・子育てひろばカレンダー、まちだ子育てサイトにて、おはなし会などの情報発信を行う。

総括	A評価	B評価	C評価	14
	1	13	0	

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度目標	2025年度取組予定	2025年度上半期取組状況	自己評価(上半期)	2026年度目標	2026年度取組予定
3	1	学校関係者への研修	学校図書館担当者研修	指導課	他	図書指導員が司書教諭等と連携して円滑に図書館運営が行えるように、蔵書管理、環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実させるための研修を行います。また、図書指導員間での情報共有も行っていきます。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していく。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の取組を行う。	・5月と9月に開催した学校図書館担当者研修会において、学校図書館担当教員と図書指導員の連携についてテーマとして取り上げ、情報交換を行った。 ・図書指導員同士の意見交換の場を設け、各校の取組状況を共有する場も設定した。	B	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していく。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の取組を行う。
3	2	学校関係者への研修	新任教諭への図書館研修	指導課	他	新任教諭の読書活動に対する知識が深まるように、図書館研修を行います。	・授業内容の充実を図るために、図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。	・3学期の初任者研修において、町田市図書館の利用についての研修を行うための準備をした。	B	・授業内容の充実を図るために、図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。
3	3	ボランティア支援	市民向け絵本の読み聞かせ講座	図書館	保他	保育園・幼稚園等や小学校、学童保育クラブで読み聞かせを行っている保護者等を対象に、絵本の読み聞かせ講座を行います。本の選び方や読み聞かせの技術向上を目指します。	・保育園・幼稚園や小学校で読み聞かせを行っている保護者等に対して、読み聞かせ講座を年3回実施する。	・市内の小学校や学童クラブなどで読み聞かせに関わる活動をしている保護者等を対象として、市民向け講座を開催する。 読み聞かせ講座(基礎編)、紙芝居講座、わらべうた講座を予定。	・2024年度に実施した(全館の)児童担当者による打合せに基づき、以下の講座を開催した。 【担当:金森・忠生図書館/会場:中央図書館】 ・6月26日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:18名参加	B	・保育園・幼稚園や小学校で読み聞かせを行っている保護者等に対して、読み聞かせ講座を年3回実施する。	・市内の小学校や学童クラブなどで読み聞かせに関わる活動をしている保護者等を対象として、市民向け講座を開催する。
3	4	ボランティア支援	おはなし会ボランティアの養成講座	図書館	保他	おはなし会ボランティア養成講座を開催し、図書館で活躍するボランティアを新たに育てます。	・ボランティアの更なる活躍のため、レベルアップ研修、おはなし会スキル講習を検討し、実施する。	・絵本の読み聞かせを主に行うおはなし会ボランティア養成講座を開催する。 10月 ボランティア養成講座(全3回)	・10月7、14、21日実施予定のボランティア養成講座(絵本)の内容を検討した。 ・2024年度に結成した新しいおはなし会ボランティア団体の活動にあたり、フォローアップ研修を実施し、おはなし会活動をサポートした。 【中央図書館】 ・おはなし会ボランティア懇談会にて、読み聞かせおすすめ本紹介、手遊び講座を行い、ボランティアのスキルアップに努めた。 【鶴川駅前図書館】 ・0・1・2歳向けおはなし会ボランティア養成講座を開催した。 (9月5日・12日に開催。受講者8名、修了者8名。)	B	・ボランティアの更なる活躍のため、レベルアップ研修、おはなし会スキル講習を検討し、実施する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、ボランティア講習を含めて、全体でテーマおよび開催時期を定めて、館で担当を振り分けて講座を開催する。 ・引き続きボランティア養成講座を実施する。
3	5	保護者向け講座	児童文学講座	図書館(文学館)	保他	絵本作家や編集者等の講演会やワークショップを通して、本や本づくりに携わる人たちと交流し、本に対する理解を深めるきっかけを作ります。	・絵本作家による講演会、ワークショップの実施	・夏季展覧会に併せて、くだもの絵本に因んだ親子参加のワークショップを実施予定である。 ・絵本作家や編集者を迎えた講演会やトークショーを開催する。	・夏季展覧会にあわせてくだもの絵本に因んだワークショップ、講演会を3件実施した。 ・高島一穂絵本ワークショップ:2回開催 38名参加 ・関口恵美くたものキーホルダーをつくろう:2回開催、37名 ・絵本作家・ひろこわさこ講演会開催:52名参加	B	・絵本作家による講演会、ワークショップの実施	・2025年度と同様に、絵本作家による講演会、ワークショップを実施

総括	A評価	B評価	C評価	5
	0	5	0	